

伊豆縦貫自動車道

東駿河湾環状道路は開通10周年を迎えました

東駿河湾環状道路

10th

IZU-JUKAN EXPRESSWAY

HIGASHI-SURUGAWAN-KANJO-DORO BELT LINE

10TH ANNIVERSARY

2009 → 2019

目次

1 伊豆縦貫自動車道の整備状況	01
2 土地利用状況の変遷	02
3 伊豆地域の概要	04
4 伊豆地域の課題と伊豆縦貫自動車道に期待される効果	06
5 伊豆縦貫自動車道がもたらすストック効果	08
6 効果を実感する声	23
7 伊豆半島道路ネットワークの利活用による地域活性化プロジェクトマップ	24
8 伊豆半島の道路網整備実施計画.....	26
9 伊豆半島の道路網整備実施計画《伊豆半島の道路網のあるべき姿》.....	28
10 東駿河湾環状道路開通後10年間のできごと	29



伊豆縦貫自動車道は、静岡県沼津市と下田市を結ぶ延長約60 kmの高規格幹線道路です。本自動車道は、東名高速道路及び新東名高速道路と接続して伊豆地域へ高速道路サービスを提供し、豊かな自然に風光明媚な景観や温泉などの観光資源に恵まれた伊豆地域の活性化に寄与しています。さらに、伊豆地域の交通渋滞や、災害時の緊急輸送路としての役割など、快適な観光や安心して生活できる環境の実現などが期待されます。

この度、伊豆縦貫自動車道 東駿河湾環状道路（沼津岡宮IC～三島塚原IC）が2009年7月に開通してから10周年を迎えました。

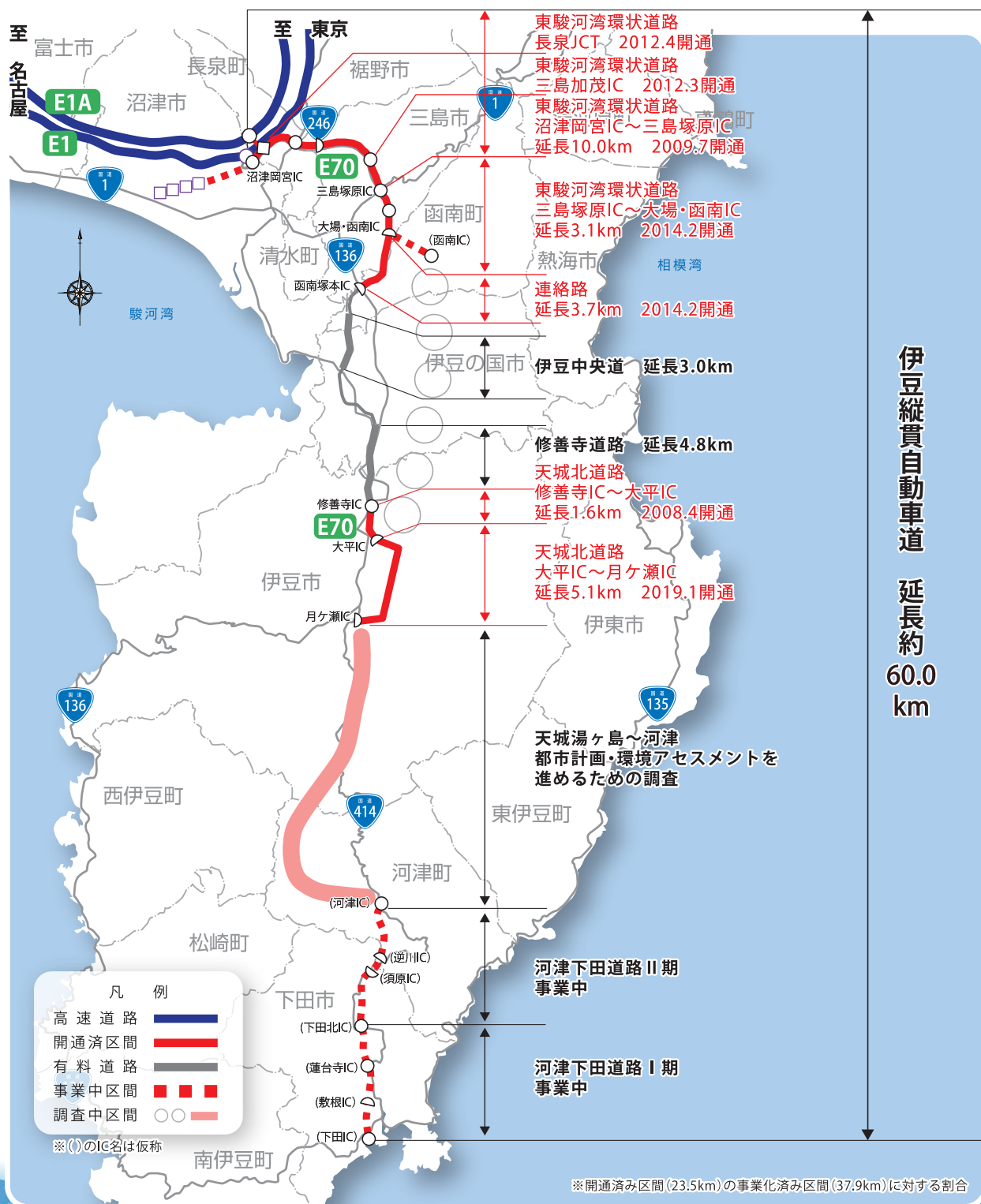
そこで、開通に伴い発現された、様々なストック効果についてご紹介します。

1 伊豆縦貫自動車道の整備状況

【伊豆縦貫自動車道の整備状況】

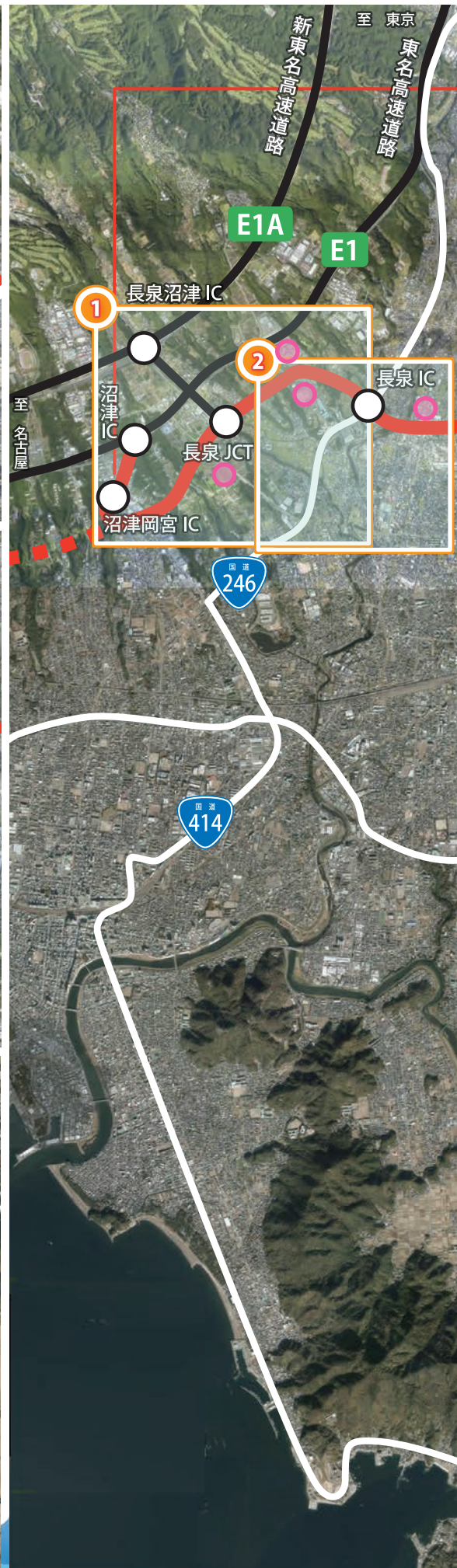
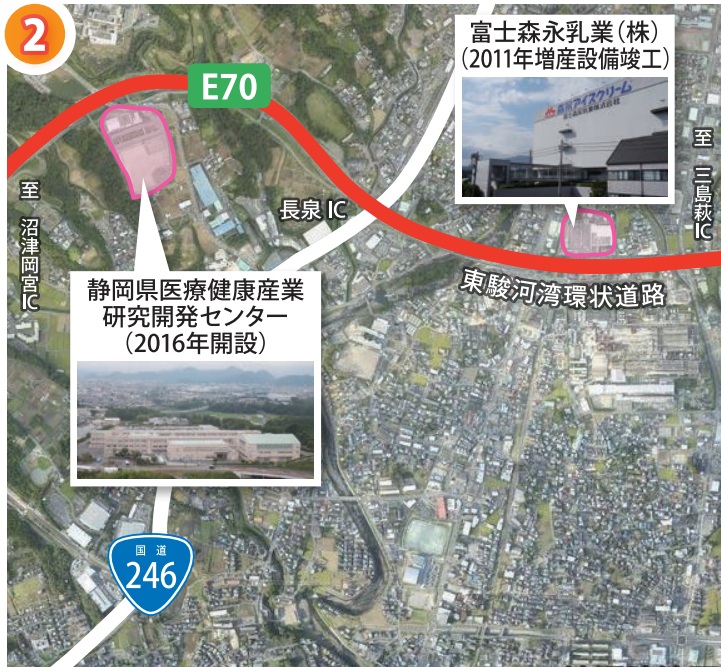
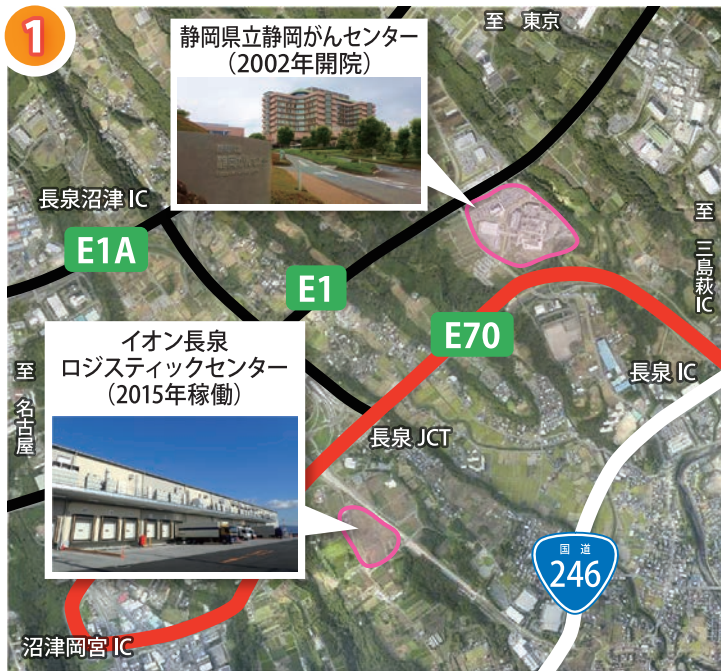
- 2008年4月11日 修善寺IC～大平IC (1.6km) 開通
- 2009年7月27日 東駿河湾環状道路 (沼津岡宮IC～三島塚原IC) 開通
- 2012年3月24日 三島加茂IC開通
- 2012年4月14日 長泉JCT開通
- 2014年2月11日 東駿河湾環状道路 (三島塚原IC～函南塚本IC) 開通
- 2019年1月26日 天城北道路 (大平IC～月ヶ瀬IC) 開通

2018年度末時点 開通済: 約23.5km (約60%※)

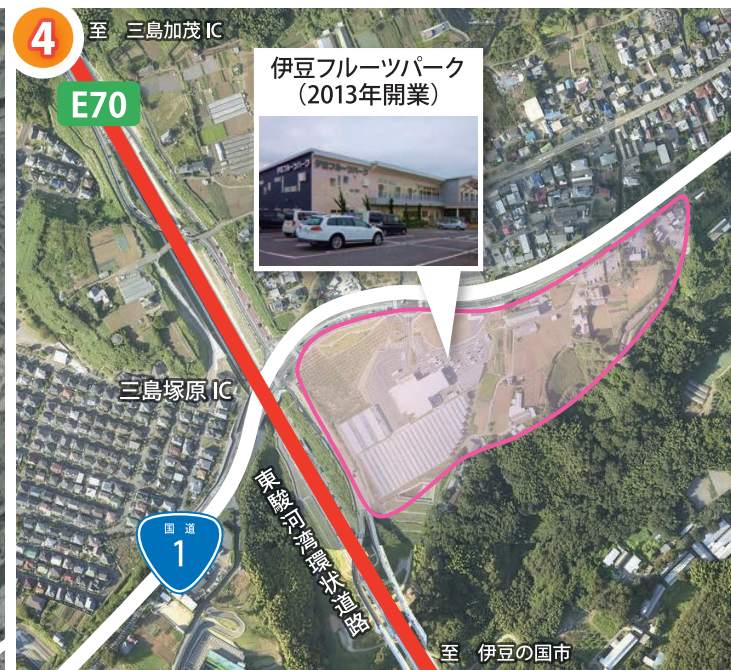


東駿河湾環状道路沿線で、新たな企業や

2 土地利用状況の変遷



観光施設等が立地

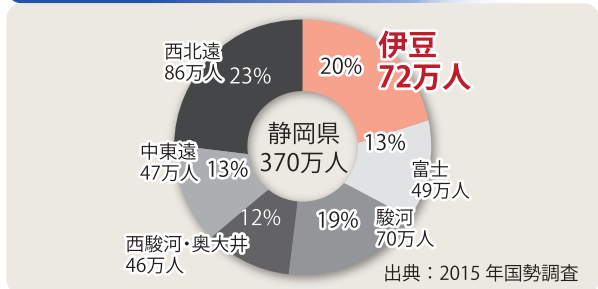


3 伊豆地域の概要

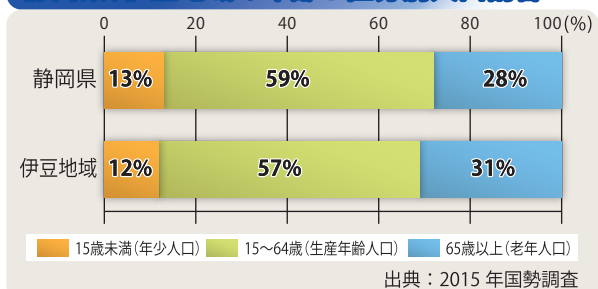
人口 少子高齢化が進む伊豆地域

伊豆地域※の人口は72万人と静岡県の20%を占めています。伊豆地域の老年人口は31%であり、県全体と比較して少子高齢化が進んでいます。

静岡県、伊豆地域の人口



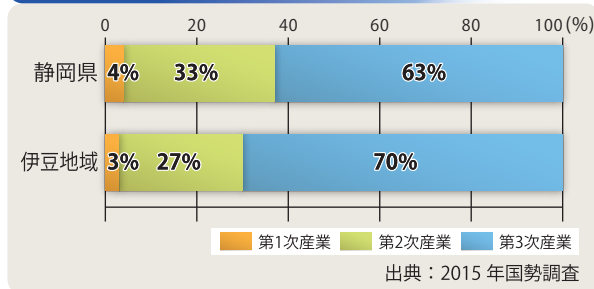
静岡県、伊豆地域の年齢3区分別人口割合



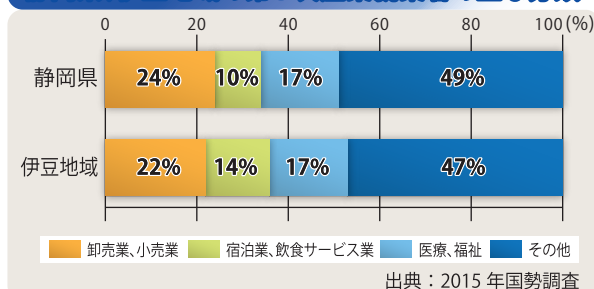
産業 第3次産業の割合が高い

伊豆地域では、第3次産業の就業者の割合が県全体と比較して高く、特に、宿泊業・飲食サービス業の割合が県全体と比較して高くなっています。

静岡県、伊豆地域の産業3分類別就業者の割合



静岡県、伊豆地域の第3次産業就業者の主な分類



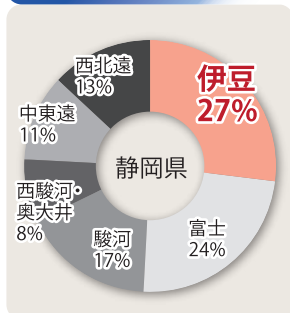
※伊豆地域

沼津市、長泉町、裾野市、清水町、三島市、函南町、伊豆の国市、熱海市、伊豆市、伊東市、西伊豆町、河津町、東伊豆町、松崎町、下田市、南伊豆町

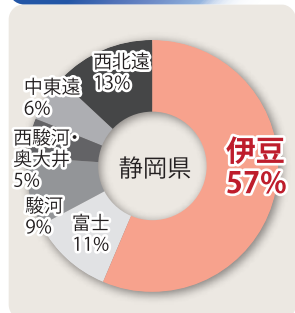
観光 観光客 県内第1位!

伊豆地域は、観光交流客数及び宿泊客数が県内第1位です。また、伊豆半島がユネスコ世界ジオパーク認定されました。

日帰り観光客数



宿泊者数



※日帰り観光客数：観光レクリエーション客数

出典：2018年静岡県観光交流の動向

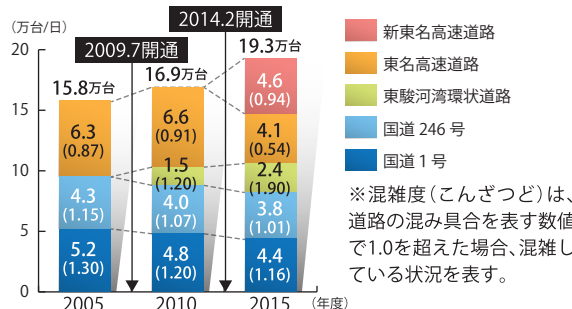
2018.4 伊豆半島ジオパーク 世界ジオパーク認定



交通 交通混雑が緩和

東駿河湾環状道路の開通に加え新東名高速道路(御殿場JCT~三ヶ日JCT)開通より、伊豆地域の交通量が増加しています。

東駿河湾環状道路の整備による交通状況の変化



出典：全国道路街路交通情勢調査

伊豆半島の観光地



1 中央公園



2 クレマチスの丘



3 三嶋大社



4 伊豆の国パノラマパーク



5 煌めきの丘



6 恋人岬



7 浄蓮の滝



8 堂ヶ島



9 河津七滝



21 伊豆の長八美術館



22 南伊豆ジオパークビジターセンター



凡例

一般国道	観光施設
主要地方道・一般県道	名所・景勝地
高速道路・高規格幹線道路・有料道路	主なジオサイト
新幹線・鉄道	
開通済区間	
事業中区間	
調査中区間	
道の駅	
温泉	

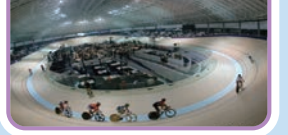
10 三島スカイウォーク



11 熱海温泉



12 伊豆ペロドーム



13 萇山反射炉



14 修善寺



15 筏場(いかだば)のわさび田



16 伊豆シャボテン動物公園



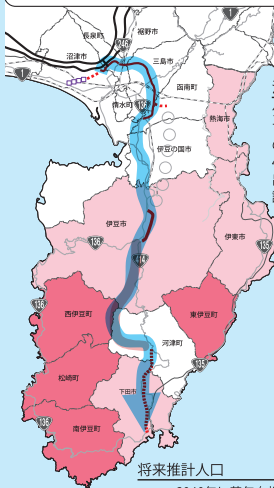
17 熱川バナナワニ園



4 伊豆地域の課題と伊豆縦貫自動車道に期待される効果

人口減少緩和に期待！

消滅可能性都市



課題

人口減少が加速する中、2040年には、伊豆地域では、**8市町の存続が懸念**されています。

期待される効果

伊豆縦貫自動車道の全線開通により、最寄ICまでの距離が短くなり、企業進出や人口増加など、**伊豆全体の活力向上が期待**されています。

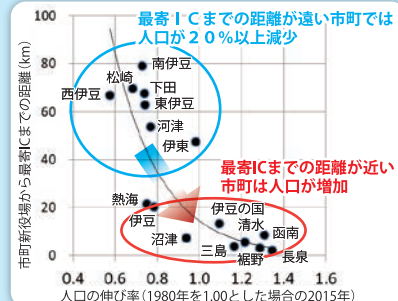
◆地域活性化シナリオ

- ・ I C 周辺への企業の進出
- ・ 製造品出荷額等の増加
- ・ 就業機会の増加
- ・ 住宅整備や定住促進
- ・ 人口増加が期待

伊豆縦貫自動車道の全線開通で最寄ICが近くなる

伊豆全体の活力向上が期待

◆高規格幹線道路ICと人口の伸び率の関係

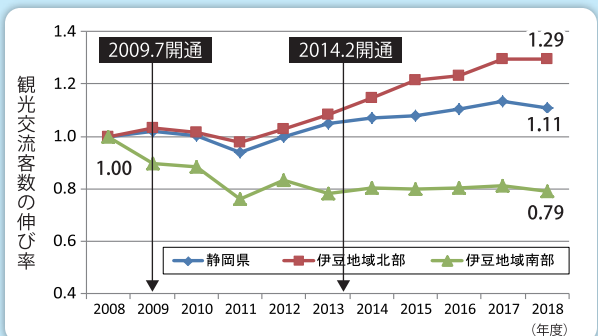


出典：国勢調査、最寄ICまでの距離は2015年現在

観光客数の増加に寄与！

静岡県と伊豆地域の観光交流客数※の推移

※観光交流客数とは、静岡県内の各地域を訪れた人の延べ人数とし、宿泊客数及び観光レクリエーション客数(観光施設やイベント等への入場者・参加者等の人数)を合計したもの



出典：2018年度 静岡県観光交流の動向

※伊豆地域北部(沼津市、長泉町、裾野市、清水町、三島市、函南町、伊豆の国市、熱海市、伊豆市、伊東市)
 伊豆地域南部(西伊豆町、河津町、東伊豆町、松崎町、下田市、南伊豆町)

課題

県内屈指の人気を誇る伊豆地域ですが、**南部の来訪者数は横ばい**。

期待される効果

伊豆縦貫自動車道開通により、南部への**アクセス性の向上**や、それによる**来訪圏域の拡大**等が、観光客の増加に繋がると期待されています。



伊豆ゲートウェイ函南(2017.5開駅)

災害時の救命・救援ルートを確保！



影響度ランク	被害規模	緊急輸送が可能なレベルの復旧に要する日数目安※
AA	大	1週間以上
A	中	3日～1週間
B	小	当日～3日
C	なし	—

※過去の被災事例や橋梁の耐震基準等の状況を踏まえて設定

凡 例

- 伊豆地域南部
- 地すべり等による通行止め箇所
- 津波浸水箇所(国道と推定津波浸水域の交差箇所)
- 異常気象時通行規制区間

出典：静岡県第4次地震被害想定 第二次報告(2013.11)

課題

南海トラフ巨大地震の発生時、伊豆地域南部につながる緊急輸送路が被災し、南部の孤立が示唆されています。

期待される効果

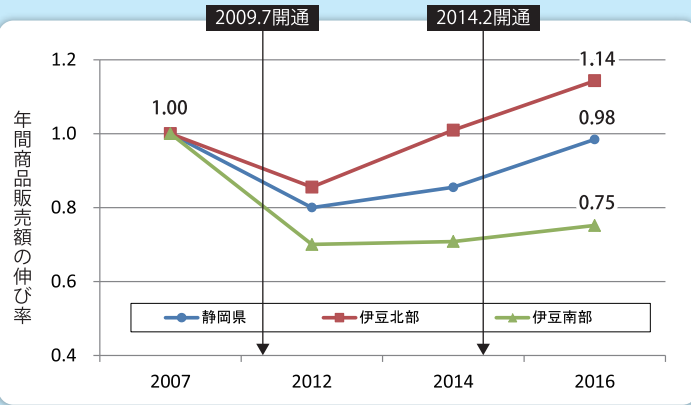
伊豆縦貫自動車道開通により、事前通行規制区間や通行止めを回避できるため、**災害時でも機能する救命・救援ルートを確保**することができます。



静岡県・賀茂地区 総合防災訓練実施状況(2014.8.31)

地場産業などの振興を支援!

静岡県と伊豆地域の年間商品販売額の推移



出典：商業統計調査、経済センサス活動調査

※伊豆地域北部(沼津市、長泉町、裾野市、清水町、三島市、函南町、伊豆の国市、熱海市、伊豆市、伊東市)

伊豆地域南部(西伊豆町、河津町、東伊豆町、松崎町、下田市、南伊豆町)

課題

商業年間商品販売額の伸び率は、静岡県全体に比べ2007年以降、伊豆地域北部は高く、南部は低い。

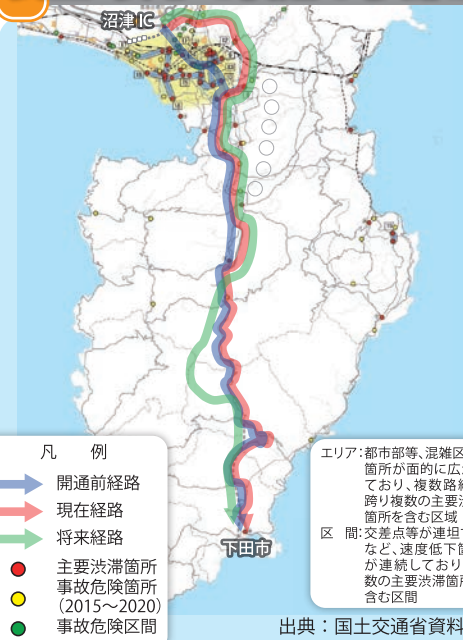
期待される効果

東駿河湾環状道路の開通後、物流の効率化が図られ、伊豆地域北部においては、2012~2014年に増加傾向となり、全線開通に向け、南部でも増加が期待されます。

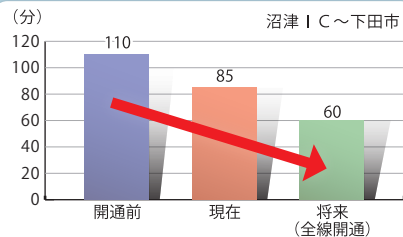
◇商品販売額とは？

卸売業または小売業において1年間で売り買いされた有体商品の販売額。したがって、不動産及び株券、商品券、宝くじなどの有価証券は含まれない。また、消費税も金額に含まれる。

安全・安心で快適な移動が可能に!



約50分の所要時間短縮!

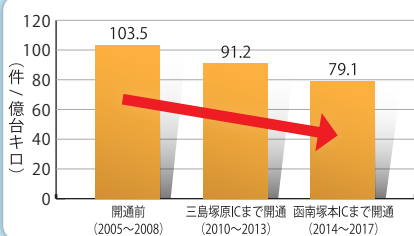


開通前:
2015年度全国道路・街路交通情勢調査
現在:
2015年度全国道路・街路交通情勢調査(天城北道路を60km/hとして算定)
将来:
伊豆縦貫自動車道を60km/hとして算出

課題

伊豆地域北部の沼津市、三島市等は、渋滞箇所や交通事故の危険区間が多く存在します。

約24件/億台キロの事故削減!

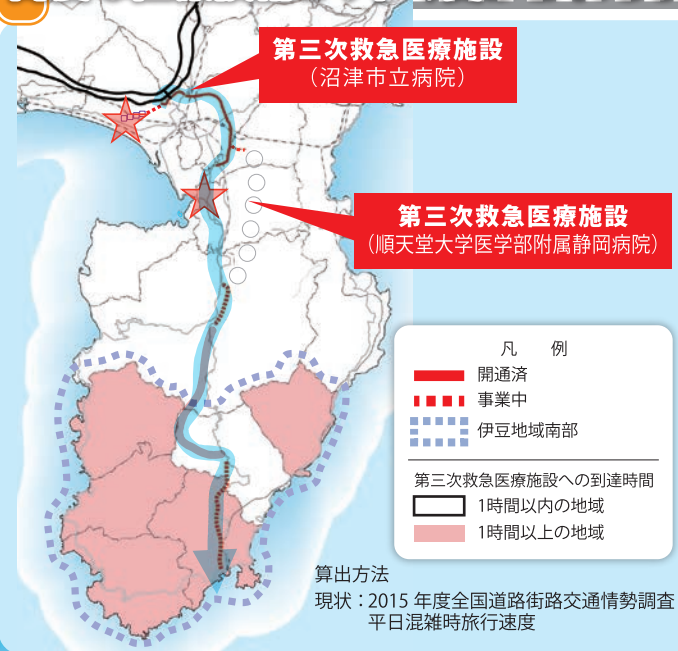


出典:
イタルタ区間データ(2005~2008、2010~2017)
対象経路:
沼津IC→国道246号→国道1号→国道136号→国道414号→中島橋交差点(下田市)

期待される効果

東駿河湾環状道路の開通により、交通分散が図られ、移動時間の短縮や事故件数の減少に繋がっており、全線開通により更なる安全性・快適性が期待されます。

高度な医療技術が、早く受けられるように!



課題

高度な医療技術が受けられる「第三次救急医療施設」は、伊豆地域南部から片道1時間以上を要し、通院時や緊急時に患者の大きな負担となっています。

期待される効果

伊豆縦貫自動車道の開通により、1時間圏域が拡大し、患者負担の軽減が期待されます。

順天堂大学医学部附属静岡病院



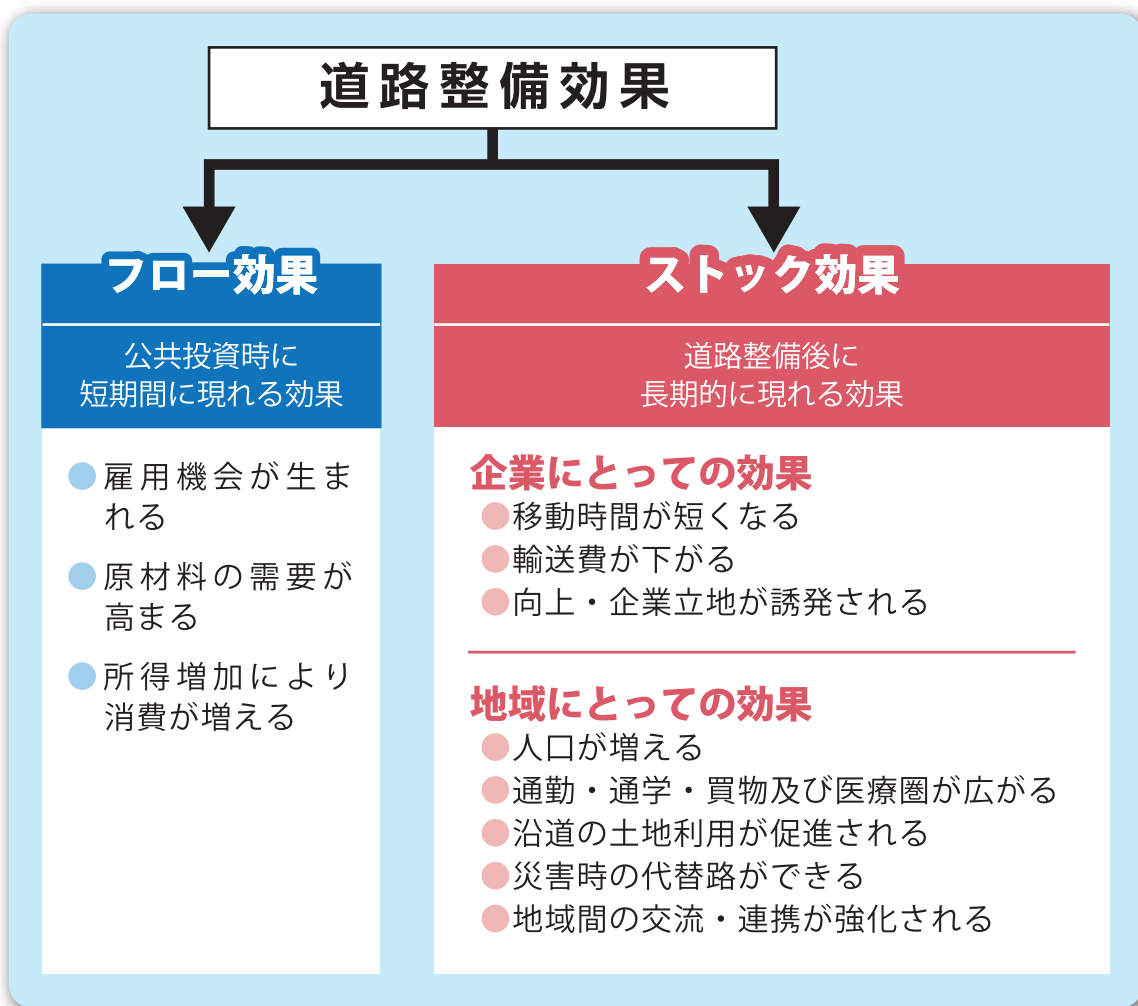
沼津市立病院



2つの道路整備効果のひとつ、「ストック効果」を考える

道路整備により生じる経済波及効果には「フロー効果」と「ストック効果」があります。

「フロー効果」とは、**公共投資時に短期的に現れる効果**であり、生産活動を活発にし、原材料や労働力の需要の拡大、生産機会の創出等、経済活動を活性化させます。一方「ストック効果」とは、**道路整備後に長期的に現れる効果**のことで、道路ネットワークの整備により、人流・物流の効率化や災害リスクの低減化、新規企業立地を促進し、その結果、人口・雇用などを増加させ、長期にわたり経済を成長させます。



フロー効果とストック効果の具体例

伊豆縦貫自動車道がもたらす ストック効果

100年前まで、下田から沼津へ行くには数日を要しましたが、自動車の普及とともに道路整備が進み、現在では約85分、さらに伊豆縦貫自動車道が全線開通すれば約60分と、圧倒的に早く到達できるようになります。

今回、現在までに発現されたストック効果をご紹介します。

【伊豆縦貫自動車道 整備状況】

2009	東駿河湾環状道路 沼津岡宮 IC～三島塚原 IC 開通
2014	東駿河湾環状道路 三島塚原 IC～大場・函南 IC 開通
2019	天城北道路 大平 IC～月ヶ瀬 IC 開通



現在までに 発現されている効果

人口	・ 定住促進	P10
産業	・ 開発許可件数増加	P11
	・ 輸送利便性向上	P12
観光	・ 観光客増加	P13～P16
	・ インバウンド観光振興	P17

伊豆縦貫自動車道 全線開通により 期待される効果

観光	・ 観光客増加	P18～P19
産業	・ 輸送時間短縮	P20
防災	・ 防災機能強化	P21
医療	・ 搬送時間短縮	P22